

給食だより 1月号

令和8年 1月 15日 神流町学校給食共同調理場

※おうちの人と一緒に読みましょう。

今月の給食目標 「感謝して食べよう」

食料自給率という言葉を知っていますか？自分の国でまかなっている食べものの割合のことで、日本の食料自給率は38%まで落ち込んでいて、その他の62%は外国から輸入に頼っています（※1）。飽食の国と言われる日本ですが、あまった食べものを捨てる人がいる一方で、世界には飢えて苦しんでいる人もいます。また、外国だけでなく、日本で食べものに困っている人もいます。世界の食糧事情について学び、私たちにできることを考えましょう。

【※1：令和5年度食料需給表（農水省）】

世界の飢餓状況

世界の人口約82億人のうち、約7億5700万人の人々が飢えて苦しんでいます。中でも開発途上国にその傾向が強く、11人に1人は飢餓状態にあると言われています。

◆飢餓の原因は・・・戦争、干ばつ・洪水などの自然災害、経済の低迷、食料価格の高騰などいろいろな原因があります。



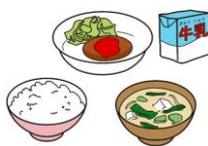
◆食べられないと・・・栄養失調におちいって、やせ細ってしまいます。

また、体の抵抗力が下がり、病気で命を落とすこともあります。

子どもたちを飢えから救う「給食」

飢餓の国に暮らす子どもたちは生活のために、幼いころから農作業や兄弟の世話などを手伝っています。また、経済的な余裕がなく、学校へ通う時間ありません。

そこで、いくつかの機関が協力して「給食」を実施しています。日本の給食と比べると、使われる材料も献立も豊富ではありませんが、1日の唯一の食事が給食という子もいて貴重な食糧源となっています。

<p>飢餓の国</p>  <p>大切な食糧源</p>	<p>日本（神流町・小学校）</p> <p>1人1食 270円</p>  <p>栄養補給だけでなく、食べながら学ぶ教材</p>
---	---

・・・私たちにできることは・・・

日本や外国で飢えに苦しんでいる人を救うために、まず、私たちができることは**食べものを無駄にしない**ことです。計画的に買いものをして、食材を無駄なく料理しましょう。ダイエットなどで食べものを無駄にしないことも大切です。

また、食料自給率を上げることも重要です。**地元の食材をすすんで食べる**ようにして、自分たちの食べものはなるべく自分の国でまかなうようにしたいものです。

毎日、十分に食事ができることに感謝して、食べものを大切にしましょう。